

製本のススメ

Vol. 84

大寒もすぎて東京にも雪が降りましたね。見ているだけで寒さが倍になったような気がします。気の早い人は花粉症という嬉しくない便りとか。風邪の予防もしっかりいたしましょう。

今回は**品が変われば**の話し

扱う種類によって、加工期間に差が出るのは当たり前ですが、日頃から短納期に慣れていると、びっくりするような段取りで予定が組まれてくる事もしばしばあります。対応が出来るものならば良いのですが、工程数の多いものや、材料仕入れから行うものは加工期間が間に合わない事もあります。

上製本や手帳などは作業前に、**ダミー(束見本)を作らなければなりません**。完成品の寸法を割り出したのち、各加工先へ其々の発注をするためです。ビニール表紙に至っては、表紙やポケットなどを切り抜く金型を部品ごとに作らねばならず、それだけで10日間ほどかかり、さらにそこから表紙作成の期間が5日間ほど必要で実際に製本加工へ入るまでに半月ほど費やされ、製本完成にはさらに3~4日かかります。**いつもの様に刷り本を入れて明後日には納品！という訳にはいかないのです**。

上製本も、クロス発注や凸版作りに10日間程度はかかります。そこから表紙の貼り作業ですので、製本まで入れると完成までに最低半月は必要です。

ちなみに**手帳の基本加工期間は1か月~**です、最盛期は(10月~12月と2月~4月)で、この時期は既に予約で埋まっており、発注しても納期が合わず3月の納期で手帳を…と言っても、いっぱいですと返事が返ってきます。

またカレンダーは夏からスタートです。規制品に社名だけ入れるのならばともかく、オリジナルのカレンダーならば(数量に係らず)早めの段取りが必要です。

また手作業の加工も思わぬ時間がかかります。袋詰めやシール貼りなど、作業は単純ですが、作業前の準備と作業後の点検に時間を取られます。

それぞれの加工期間も、短縮されはじめてきましたが、それでも工程が多いと総体の加工期間は長くなりますので、いつもと違うときには、納期の打ち合わせを十分に行い、スケジュールを組まないと最後になって間に合わないという事になります。



Teabreak

節分は「豆まき」です。鬼は外・福は内と豆をまく・・・？豆って、撒かずに投げます(あるいは、鬼にぶつけます)よね。この豆は畑にタネを蒔く仕事を表していて、豊作を願う意味があるそうです。でもやっぱり、鬼にはぶつけますよね。豆まきでなく豆打ちという感じでしょうか？(^O^)

by (株) 井関製本